
令和2年度

中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

令和2年度中間決算のポイント

経常利益は564億円で、前中間期に比べ、57億円の減少
中間純利益は95億円で、前中間期に比べ、0.8億円の増加

資産総額は貸付金等24兆6,986億円で、前年度末に比べ、3,519億円の増加
負債総額は債券等24兆3,650億円で、前年度末に比べ、3,422億円の増加
純資産総額は利益剰余金等3,336億円で、前年度末に比べ、97億円の増加

地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度と同額
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度と同額
公庫債権金利変動準備金は6,147億円で、前年度末に比べ、91億円の増加

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

当中間期の**経常利益は564億円**で、前中間期に比べ、57億円の減少(- 9.3%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を52億円上回ったこと等が要因

中間純利益は95億円で、前中間期に比べ、0.8億円の増加(+ 0.9%)。一般勘定の中間純利益が増加したことが要因

科 目	R2中間決算(A)	R1中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,287億円	1,448億円	161億円
貸 付 金 利 息	1,283億円	1,445億円	161億円
そ の 他	4億円	3億円	0億円
経 常 費 用	723億円	826億円	103億円
債 券 利 息	683億円	792億円	109億円
そ の 他	40億円	33億円	6億円
経 常 利 益	564億円	622億円	57億円
特 別 利 益	423億円	1,027億円	604億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	400億円	1,000億円	600億円
利差補てん積立金取崩額	23億円	27億円	4億円
特 別 損 失	891億円	1,554億円	662億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	491億円	554億円	62億円
国 庫 納 付 金	400億円	1,000億円	600億円
中 間 純 利 益	95億円	94億円	0.8億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

当中間期の**経常利益は95億円**で、前中間期に比べ、0.8億円の増加(+0.9%)
 貸付金利息が44億円減少した一方で、債券利息が47億円減少したこと等が要因
中間純利益は95億円で、前中間期に比べ、0.8億円の増加(+0.9%)

科 目	R2中間決算(A)	R1中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	599億円	643億円	43億円
貸付金利息	593億円	638億円	44億円
余資運用益	0億円	0億円	0億円
金利スワップ受入利息	0億円	0億円	0億円
健全化基金受入額	-	1億円	1億円
その他の	4億円	2億円	1億円
経 常 費 用	503億円	548億円	44億円
債券利息	435億円	482億円	47億円
借入金利息	2億円	2億円	0億円
金利スワップ支払利息	-	0億円	0億円
その他業務費用	20億円	12億円	7億円
営業経費	15億円	15億円	0億円
基金管理勘定繰出金	29億円	33億円	4億円
その他の	0億円	0億円	0億円
経 常 利 益	95億円	94億円	0.8億円
特 別 利 益	-	-	-
特 別 損 失	-	-	-
中 間 純 利 益	95億円	94億円	0.8億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

当中間期の**経常利益は468億円**で、前中間期に比べ、58億円の減少(11.1%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を54億円上回ったこと等が要因

地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、当中間期の純利益はゼロ

科 目	R2中間決算(A)	R1中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	719億円	841億円	121億円
貸付金利息	689億円	806億円	117億円
基金一般勘定繰入金	29億円	33億円	4億円
その他	0億円	0億円	0億円
経 常 費 用	251億円	313億円	62億円
債券利息	247億円	309億円	62億円
その他	3億円	4億円	0億円
経 常 利 益	468億円	527億円	58億円
特 別 利 益	423億円	1,027億円	604億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	400億円	1,000億円	600億円
利差補てん積立金取崩額	23億円	27億円	4億円
特 別 損 失	891億円	1,554億円	662億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	491億円	554億円	62億円
国庫納付金	400億円	1,000億円	600億円
中 間 純 利 益	-	-	-

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

当中間期末現在の**資産総額は24兆6,986億円**で、前年度末に比べ、3,519億円の増加(+1.4%)
現金預け金が前年度末に比べ、4,182億円増加したこと等が要因

科 目	令和2年度中間期末現在(A) (R2.9.30)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆1,295億円	23兆3,996億円	2,700億円
有 価 証 券	5,620億円	3,655億円	1,965億円
現 金 預 け 金	9,756億円	5,574億円	4,182億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	204億円	123億円	80億円
そ の 他 資 産	73億円	78億円	5億円
有 形 固 定 資 産	27億円	27億円	0億円
無 形 固 定 資 産	9億円	10億円	1億円
合 計	24兆6,986億円	24兆3,467億円	3,519億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

当中間期末現在の一般勘定における資産総額は1兆8,059億円で、前年度末に比べ、8,222億円の増加(+4.7%)

当中間期末現在の管理勘定における資産総額は6兆8,218億円で、前年度末に比べ、5,240億円の減少(-7.1%)

	科 目	令和2年度中間期末現在(A) (R2.9.30)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	1兆6,403億円	1兆6,408億円	1,994億円
	有 価 証 券	5,620億円	3,655億円	1,965億円
	現 金 預 け 金	9,756億円	5,574億円	4,182億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	204億円	123億円	80億円
	そ の 他 資 産	38億円	36億円	1億円
	有 形 固 定 資 産	27億円	27億円	0億円
	無 形 固 定 資 産	9億円	10億円	1億円
	合 計	1兆8,059億円	1兆7,837億円	8,222億円
管 理 勘 定	貸 付 金	6兆2,892億円	6兆7,587億円	4,695億円
	そ の 他 資 産	35億円	41億円	6億円
	一 般 勘 定 貸	5,290億円	5,828億円	537億円
	合 計	6兆8,218億円	7兆3,458億円	5,240億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

当中間期末現在の負債総額は24兆3,650億円で、前年度末に比べ、3,422億円の増加(+1.4%)
負債の大半を占める債券は前年度末に比べ、3,292億円の増加。当期発行額が償還額を上回ったこと等が
要因

公庫債権金利変動準備金は、借換益等491億円を繰り入れる一方で、400億円の国庫納付を行った結果、
前年度末に比べ、91億円の増加

科 目	令和2年度中間期末現在(A) (R2.9.30)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	20兆3,426億円	20兆134億円	3,292億円
借 入 金	2,480億円	2,030億円	450億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	-
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	-
公庫債権金利変動準備金	6,147億円	6,056億円	91億円
利差補てん積立金	148億円	171億円	23億円
金融商品等受入担保金	199億円	580億円	381億円
そ の 他	45億円	52億円	6億円
合 計	24兆3,650億円	24兆228億円	3,422億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

当中間期末現在の一般勘定における負債総額は18兆1,301億円で、前年度末に比べ、8,125億円の増加(+4.7%)
 当中間期末現在の管理勘定における負債総額は6兆7,639億円で、前年度末に比べ、5,240億円の減少(-7.2%)

	科 目	令和2年度中間期末現在(A) (R2.9.30)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	14兆2,113億円	13兆3,513億円	8,599億円
	借 入 金	2,480億円	2,030億円	450億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	-
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	-
	金融商品等受入担保金	199億円	580億円	381億円
	管理勘定借	5,290億円	5,828億円	537億円
	その他の	15億円	20億円	5億円
	合 計	18兆1,301億円	17兆3,176億円	8,125億円
管 理 勘 定	債 券	6兆1,313億円	6兆6,620億円	5,307億円
	公庫債権金利変動準備金	6,147億円	6,056億円	91億円
	利差補てん積立金	148億円	171億円	23億円
	その他の負債	30億円	31億円	1億円
	合 計	6兆7,639億円	7兆2,880億円	5,240億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

当中間期末現在の**純資産総額は3,336億円**で、前年度末に比べ、97億円の増加(+3.0%)
一般勘定の中間純利益95億円を一般勘定中間未処分利益として計上したこと等が要因

科 目	令和2年度中間期末現在(A) (R2.9.30)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	-
一般勘定積立金	2,383億円	2,383億円	-
一般勘定中間未処分利益	95億円	-	皆増
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	-
繰延ヘッジ損益	112億円	111億円	1億円 <small>うち現存スワップ時価評価分 4億円 うち繰延ヘッジ取崩分 2億円</small>
合 計	3,336億円	3,238億円	97億円

単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位:億円)

令和2年度9月期決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前 残	期 末 高	貸付額	回収額	中 間 期 末 高
				+ -
233,996		6,283	8,984	231,295

【債券】

前 残	期 末 高	発行額	償還額等	中 間 期 末 高
				+ -
200,134		14,449	11,157	203,426

【地方公共団体健全化基金】

前 残	期 末 高	納付金等	基 運 用 益	利下げ補てん 所 要 額	一般勘定自己 財源充当額	中 間 期 末 残 高
						+ + -(-)
9,202		-	36	113	76	9,202

【利差補てん積立金】

前 残	期 末 高	取崩額	中 間 期 末 残 高
			-
171		23	148

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前 残	期 末 高	国 庫 納 付	公庫貸付に係る 利下げ所要額	債 券 借 換 益	中 間 期 末 残 高
						+ + +
金利変動準備金		22,000	-	-	-	22,000
公庫債権金利変動準備金		6,056	400	29	462	6,147

(注) 一般勘定においても債券借換益は157億円発生しているものの、関係法令の規定に準じて算出した金利変動準備金の積立限度額(当該中間期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の125)を前期末残高が超えているため、積立てを行っていない。
単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。